

【年末年始労働災害防止】

郡山労働基準監督署管内での建設業における労働災害発生状況11月末現在で、65件と前年同期比で16.1%増(9件増加)となっておりますが、死亡災害においては1件と前年同期比で2件減少となっております。事故の中にも正しい情報が伝わらず、間違った判断をしてしまい起きた事例などがありますので、日々の安全活動の取組のなかに、ほう・れん・そう活動を実施してみてください。

ほう 「報告」

上司や先輩から指示されたことに対して、部下が経緯や結果など状況をつたえること
現在と過去の結果を結論・結果の順番で要点を絞って上司や先輩に伝えること

れん 「連絡」

簡単な情報を関係者に伝えること
これからの予定など特に情報を共有する日程・時間・数量等の未来のことを伝えること

そう 「相談」

判断に迷うときや意見を聞いてもらいたい時などに上司や先輩、同僚等に参考意見を聞き、アドバイスをもらうこと
判断に迷ったときや不安要素がある場合に用いる手段



【年末年始交通事故防止】

12月10日から来年1月7日まで年末年始交通事故防止県民総ぐるみ運動が次の3項目を重点に実施されます。

飲酒運転の根絶

年末年始は忘年会や新年会など、何かと飲酒の機会が増える時期です。たとえどんな理由があっても、飲酒運転は絶対に許されません。「ちょっとくらいなら」「見つからなければ」などという気持ちが、一生かかっても償えないほどの重大な事故を引き起こすこととなります。飲酒運転は絶対にしないことはもちろん、運転者に飲酒をすすめることも絶対に止めましょう。



夕暮れ時と夜間の交通事故防止

夕暮れ時は、歩行者や自転車が周囲の景色にとけ込んでしまうため、見えにくくなります。相手を早く発見するため、自分の存在を分かってもらうためにもライトを早めにつけましょう。対向車、先行車等がないときは、「上向きライトが原則」ですので、面倒がらずにライトのこまめな切り替えを習慣づけましょう。「PM4ライトオン運動」

全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

後部座席でシートベルトをしていないと、事故の際に車外に投げ出されたりする等、大変危険です。運転手の皆さんは、車に乗ったら、全席シートベルトを「正しく着用していること」を確認してから発車することを習慣にしましょう。

インフルエンザ対策の徹底

咳をして症状のある人には、2メートル以内に近づかないようにしましょう。

※不要不急な外出を控えること。



使用したティッシュはすぐに捨てる



咳やくしゃみをする時は、ティッシュで鼻と口を覆い、ほかの人への感染を防ぎましょう。

日ごろからバランスよく栄養をとり、規則的な生活をしましょう。



手くびから指先まで石けんを使用し15秒以上、しっかり洗って接触感染を防ぎましょう。



手にはさまざまな病原体が付いている可能性があります。なるべく手で自分の鼻、口、眼を触らないようにしましょう。